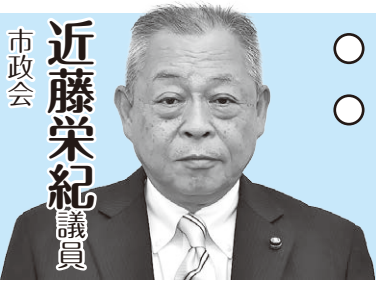


近藤栄紀議員  
市政会



○ 宿泊施設誘致について  
○ 雁が原の活用について

その他の質問

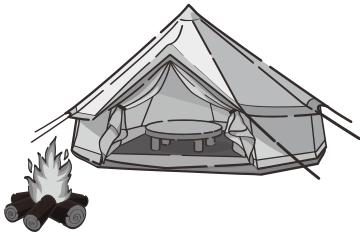
- ・新型コロナウイルスワクチン接種について
- ・今年度の除雪体制について

問 長尾山総合公園再整備計画が進められているが、今現在の状況を伺う。

答 恐竜博物館のリニューアルが2023年完成を指しているが、再整備計画は何年を目指しているのか。

答 中部縦貫自動車道の県内全線開通や北陸新幹線の福井敦賀開業による交流人口の拡大、福井県が進めている恐竜博物館の機能強化を見据え、市民がゆつたりと楽しむことができ、宿泊機能や飲食物販機能、アミューズメント機能などの施設の整備を、※Park7E1方式にて検討している。昨年度の調査結果を踏まえ、本年度、事業者を公募する。本定例会中に調査結果や公募指針案等を報告したい。

※Park7E1: 飲食店、売店等の施設設置と、その施設から生じる利益を活用して、周辺の園路等の整備改修を一体的に行う者を公募により選定する制度



問 雁が原の自然公園化を提案したい。クラウドファンディングにより、一区画いくらか寄付をしていただき、オーナーとなり、花木を植えてもらい、管理していただくシステムである。

答 将来、勝山市の名勝になり、さらにキャンプ場を整えれば、人々が集うだろう。恐竜博物館の機能強化や道の駅隣接地の整備、長尾山総合公園のPark7E1による整備といった重要な施策の動向や事業効果を見極めたうえで、雁が原の活用について研究していくが、再開発を見送り、自然公園化することは、重要な選択肢であると考ええる。

乾章俊議員  
新風会・公明



○ 子供たちの視力低下について

その他の質問

- ・産業の活性化について

問 パソコン、ゲーム機、タブレット、スマートフォン等を多く見る生活習慣が急激に進行している。それが原因で、近くを見る時間が長くなり、遠くを見る時間が短くなって、眼の焦点をあわせるために前後する眼球が伸びることによって生じる眼軸近視が進んでいる。

答 以前から、当市の子供たちの視力低下が深刻な状況にある。直近の検査結果はどうか。今後デジタル授業が進むため、対策強化を図る必要があるが、いかがか。

問 文部科学省の令和元年度学校保健統計調査によると、勝山市の裸眼視力が1.0未満の児童生徒の割合は、全国、県内をやや上回る結果となっている。

答 市内小中学校では、「目の健康プロジェクト」として、「目の健康を守る3か条」の教室掲示や「目のリフレッシュタイム」、※「ビジョントレーニング」など目の健康を守る運動に取り組んでいる。また、毎月発行している保健だよりで、子供たちの状況や目の大切さを家庭にも伝え、家族の協力をお願いしている。



一人一台端末の学びが始まる中で、タブレット端末の利用ルールを定めるなど、目の健康に関する活動にさらに取り組むよう、指導していく。

※ビジョントレーニング: 眼球を動かして目の筋肉を鍛えること。